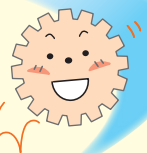




日本離床学会
教育講座

クスリの工夫で多職種連携が変わる！ 薬剤とリハビリ・看護ケア 完全攻略セミナー



～投薬から考えるADLアップ戦略～

難易度

★★★★☆

講座コード
R-23

日時：2020年 **9月12日(土) 10:00～16:10**

場所：インターネット生ライブ中継

講師：谷 崇史 先生(石巻赤十字病院)

対象：看護師・PT・OT・ST・薬剤師(左記以外でも受講可)

受講料：一般 12,800 円(税込) 会員 9,800 円(税込) ※定員になり次第締切り



クスリのリスクを知らないままでは命取り



薬剤は離床や看護ケアを行う患者さんの状態に大きな影響を与えます。だから、薬のことがわからない、薬が変わってもそのまま離床、ではダメ！そのままでは、思わぬ血圧低下を招いたり、状態悪化を招くかもしれません。この講座では、薬効・副作用と離床との関係を学ぶだけでなく、患者さんのADLアップのポイントや多職種での情報共有のコツまで幅広く学びます。さあ、あなたもこの講座を受講して、薬剤と離床のフカ～イ関係を学び、不安を解消してみませんか？

投薬から安全な離床時期を見極めるための集中プログラム

Program 01 共通認識が大事！まずおさえない薬物療法の原則とデバイスの種類

- ①経口か？ 経静脈か？
投与法の選択はこうして行われている
- ②γ(ガンマ)・Cmax 離床介入のベストタイミングとは？
- ③薬剤投与デバイスの基本原理と管理について
～翼状針・CVカテーテル・PICCなど～
- ④どこにどの針が入っていれば危険か？
離床時のチェックポイントとは？

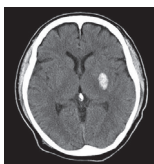


- ③心不全
・これでスッキリ！心不全治療薬の考え方
目に見える治療と見えない治療とは
(アルダクトン®・シグマート®・アーチスト®・レニベース®など)
・複雑な不整脈分類とは決別！シンプルに理解する抗不整脈薬
(シベノール®・サンリズム®・アンカロン®・ワソラン®など)
・そのふらつき脱水かも 補液を理解して起立性低血圧を予防しよう！
(ラジックス®・hANP®・カタボンHi®など)
- ④糖尿病・喘息・脱水による補液
・輸液の基本的な考え方～最低限おさえない補充液と維持液の違い～
・経口血糖降下薬の効能と低血糖リスク
・気管支拡張薬と抗炎症薬～離床を妨げる(意外な)副作用とは



Program 02 クスリの知識を活かそう！クスリは効能・副作用を考慮した離床戦略

- ①脳血管障害
・使用薬剤をみれば脳梗塞病型がわかる
～抗血小板薬と抗凝固薬の使い分け～
(スロンノン®・ヘパリン®・プレタール®など)
・不整脈に注意！脳浮腫に使用される薬剤
(マンニトールR®・グリセオールR®)
- ②整形外科術後・外科周術期
・疼痛を訴える患者さんの鎮痛薬～ベストチョイスを考える～
(ロキソニン®・ボルタレン®・フェンタニル®など)
・抗血栓薬別にみた離床のちがい
(リクシアナ®・ワーファリン®・ヘパリン®・イグザレルト®など)
・周術期・人工呼吸管理に使われる鎮静薬と離床の見極め
(ドルミカム®・ディプリバン®・プレセデックス®など)



Program 03 ベテランから学ぶ！投薬情報を見逃して離床に失敗したあるある実例集

- ・強心薬を見逃して離床したら怖い不整脈が出てしまった！
- ・ふらついて転倒！クスリが原因？転倒リスクの高い薬剤とは？
- ・起立性低血圧出現！硬膜外麻酔の思わぬ落とし穴とは？

Program 04 投薬の変更から予測する主治医の意図と離床の考え方

- 以下の場合離床を進めますか？
- ・脳梗塞発症 3日目
→プレタール+ラジカットにスロンノンが追加
 - ・拡張型心筋症 アーチスト(β遮断薬)
→アンカロン(Kチャンネル遮断薬)に変更
 - ・心臓外科術後 ソリタ T3 100ml →サリンヘス 50mlに変更



症例

※この講座は離床アドバイザー習得コースの理論コース1単位を取得できます。

受講方法

- ① ホームページよりオンライン登録
- ② 添付の申し込み用紙に記入の上、FAXまたは郵送
申し込み用紙はホームページからもダウンロードできます

日本離床学会

検索

お問い合わせ・お申込先

臨床を元気に！ 日本離床学会

〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-12 プラールビル2F
ホームページ <https://www.rishou.org/>
TEL 03-3556-5585 FAX 03-6272-9683
Eメール jsea@rishou.org

